



▲たのしく作業を行う児童たち

出来秋に向けて ニッ井小学校児童が手植えに挑戦

J A 青年部ニッ井支部による、田植え体験学習が5月30日、特定農業法人・富根ファームが所有する水田で開かれました。

体験学習には、ニッ井小学校5年生76名が参加。児童たちは、J A 職員や青年部員からやり方を教わりながら、手際よく植えていきました。

また秋には同じ圃場で稲刈り体験を実施し、収穫したお米を使ってJ A 女性部と一緒に、巻き寿司づくりを行う予定です。



▲毎日新聞秋田支局長賞を受賞した工藤さん

全国農業コンクールにおいて 管内から工藤巖さんが受賞

第61回全国農業コンクールの園芸部門において、工藤巖さん（能代市久喜沢）が毎日新聞秋田支局長賞を受賞しました。

前J A ねぎ部会長として、「白神ねぎ」の栽培技術向上と、品質検査体制の確立によって市場評価を高め、県内一の産地にしたことが評価されました。

「今後も白神ねぎの更なるブランド力強化を図り、次世代に引き継げる農業を目指します。」と力強く話してくれました。



▲仲良く牧草を食べる牛たち

白神山地の自然を満喫 大野岱放牧場で牛の放牧が開始

藤里町営大野岱放牧場で5月16日から、飼育牛のストレス解消と体力強化などを目的とした放牧が開始され、半年ぶりに放牧された牛たちは、牧場の自然を満喫していました。

放牧することで、繁殖牛は妊娠・出産に耐えられる体力がつき、子牛は運動して食べるという成長サイクルが出来ます。

また、定期的にJ A ・農家・行政が検診を行い、病気や寄生虫などの予防管理を行っています。



▲ホバークラフトの効果を実感する農家

除草剤散布労力の軽減等を目的に ホバークラフトを導入

除草剤散布労力の軽減と、作業時間の短縮などを図るため、J A はホバークラフトを導入した、水田除草剤散布機を導入しました。

主に1ヘクタールの大規模圃場における作業軽減を目的に、今年度から導入されたホバークラフト。5月下旬からは、実際に依頼農家の圃場で除草剤散布が行われました。農家からは「ホバークラフトのおかげで作業が軽減され、大変助かります。」と喜びの声を頂きました。

